

いつも心に長崎を 第6号

令和7年5月20日(火)
長崎中学校学校だより
校長 鬼塚 喜隆

一つの青春の本番～第79回体育大会～

一週間ほど天気予報とにらめっこを続け、予備日での開催すら危ぶまれる状況が何とか変わりますようにと、てるてる坊主に願いをかけ続けていたのが天に通じ、第79回体育大会を予定通りに5/18(日)に開催することができました。

私は来賓の方々と一緒にカメラ片手に声援を送っていました。すると近くにいた中山育成会会長がこうおっしゃるのです。

「速い、遅い関係なく、本当にみんな一生懸命走ってますね。笑顔から一生懸命さが伝わってきます」

笑顔から一生懸命さが伝わる。私も同じことを感じていただけに、この中山育成会会長の言葉は大変嬉しいものでした。

100m走で伝わる一生懸命さ、チャンス競技で感じるアットホームな空気、ジャンボバトンリレーでの必死な表情、台風目を感じる緊張感、観客を巻き込む熱気にあふれた新種目綱引き、そして、精鋭の力走に魅了されたベストリレー・・・ あっという間に時間は過ぎていきました。

トリを飾るのは伝統の長中ソーラン。晴れ姿を引き立たせるハッピをまとい、しっかりと腰を落として演技する3年生の姿は本当に凛々しかった。これからも1、2年生の憧れの存在として、長中をリードし続けてほしいと思います。

閉会式では競技の部、ソーラン節の部ともに表彰を行いました。が、終わってしまえばノーサイド。結果に一喜一憂する以上の、一つの「青春の本番」としての体育大会を、長中に関わる全員の力で作り上げ、喜びを分かち合うことができたことに何より大きな幸せを感じた体育大会でした。



保護者の皆様には朝早くからご来場いただき、暖かい声援を送っていただきありがとうございました。また、受付や写真撮影などをボランティアとして引き受けていただいた皆様に、改めて御礼申し上げます。

最後に。やはりこの言葉を言わせてください。 **長崎中学校 大好きです!!**